



TOKYO NEWS FLASH

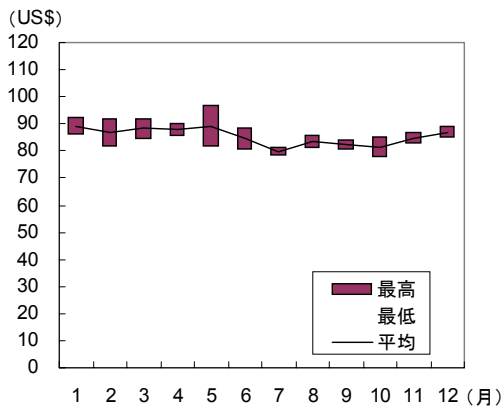
米国食肉輸出連合会 (USMEF)

Volume 231 December 17, 2002

米国食肉市場ニュース

～ 牛肉 ～

去勢牛の 100 ポンド (約 45kg) 当たりの価格
(オクラホマシティー・体重 600～700 ポンド)



資料 : Cattle-Glenn Grimes & Ron Plain

- 注 : 1.2002年1月～2002年12月までのデータ
2.該当月の第1週のデータより作成 (2002年1・9月を除く)
3.2002年9・11月はイヤリングビーフ (若齢牛) による
4.2002年12月は体重650～700ポンドのイヤリングビーフ (若齢牛) による

牛肉市況 (12月2～6日)

- **週間と畜頭数 :**
67万5,000頭 (前年比0.1%増)。
- **と畜牛の重量 (11月第4週) :**
未経産牛以外は、前年を下回った (下表参照)。
そのため、価格は今後上昇すると見られる。

	枝肉平均重量*	前年比増減*
去勢牛	830 (375.9)	-3 (-1.4kg)
未経産牛	764 (346.1)	-5 (-2.3kg)
牛全体	767 (347.5)	+6 (-2.7kg)

* 数値はポンド。() 内は kg (近似値)。

● 肥育牛の現金取引価格

(11月第5週/100ポンド [約45kg] 当たり) :
生体ベースで前週比 2.00 ドル以上の高値で取引。中西部の直接取引およびハイプレーンズでは平均 73.00 ドル。

- **牛肉価格 (100ポンド [約45kg] 当たり) :**
2週間とほぼ同じ。歩留り等級3のチョイスは 120.13 ドル (前々週比 0.6%減)、セレクトは 114.00 ドル (同 0.6ドル減) で取引。

オクラホマシティーにおける去勢素牛の体重別、
100ポンド (約45kg) 当たりの価格 (US\$)

体重 (ポンド)	12月2～6日
400～500	94.00～112.00
500～600 ¹	79.50～89.00
650～700 ²	85.25～88.85
700～800 ²	84.25～88.00
800～925	81.00～88.50

注 : 1.子牛 2.イヤリングビーフ (若齢牛)

(Cattle-Glenn Grimes & Ron Plain, 12/06/2002)

～ 豚肉 ～

豚肉市況 (12月2～6日)

- **週間と畜頭数 :**
推定 203万7,000頭 (前年比3.0%減)。10・11月のと畜頭数は、前年を1%強、上回っており、9月の『Hogs and Pigs』レポートの予測に近い水準となった。
- **枝肉重量 (11月第4週) :**
去勢・未経産豚の平均は、引き続き前年を2ポンド (約0.9kg) 下回っている。11月第5週では、アイオワ・ミネソタ産の去勢・未経産豚の平均生体重量は、生体ベースで前年比0.6ポンド (約0.3kg) 減。このデータから、出荷動向は前年よりも順調だが、今年10月初旬よりも低調であることがうかがえる。
- **出荷契約別の価格・取引動向 (11月) :**
独立系生産者が受け取った純荷重平均価格は、32.73ドル (生体重量/100ポンド [約45kg] 当たり)。同期間における肉豚の純価格と、各契約形式に占める取引頭数の割合は、契約別に以下の通り。

契約形式	平均価格 (US\$)	取引頭数割合*
現金出荷	29.52	18.0%
フォーミュラ (生体肉豚/豚肉)	30.96	50.8%
先物連動型出荷フォーミュラ	29.48	6.4%
飼料価格/ 窓口契約連動型購買契約	39.53	24.8%

* 独立系生産者の肉豚

- **MFA 電話競売における素豚価格** (11 月第 5 週) :
前々週に比べ、おおむね高値で取引。
- **肉豚の現金取引価格** (100 ポンド [約 45kg] 当たり) :
前週に比べ堅調。

主要市場における 100 ポンド (約 45kg)
当たりの最高価格 (US\$)

	12 月 6 日
ペオリア	30.50
セントポール	32.50
スーフォールズ	33.00
ミズーリ中央部	31.00

185 ポンド物 (約 83.5kg) の枝肉平均価格 (US\$)

	12 月 6 日
東部トウモロコシ地帯	43.24
西部トウモロコシ地帯	44.04
アイオワ・ミネソタ	44.17
全国	43.81

MFA 電話競売における素豚価格 (US\$)

体重 (ポンド)	11 月 25~30 日
40~50	66.50
50~60	61.50~62.00
60~70	53.50~61.50
70~80	45.50~60.00
80 以上*	45.00

* 100ポンド (約45kg) 当たり

(Hogs-Glenn Grimes & Ron Plain, 12/06/2002)

食品安全ニュース

DNA のトレーサビリティ

動物の DNA サンプルの収集、貯蔵、分析に使用できる新製品、「DNA ストレージ・キット」が発売された。製造元の DNA ポイント社は、このキットによって、加工工場での食肉の記録が簡素化され、食肉の追跡が容易になると話している。

通常、DNA の収集・貯蔵には専用の設備が必要だが、このキットは、専用設備を一切使わずにサンプルを採取できる。方法は簡単で、食肉の小片を特殊な紙片に押し付けるだけ。食肉の代わりに血液を使うこともできる。また、サンプルの同一性の確認や記録は、キットに含まれる各種のパーツにバーコードを添付するだけでいい。仕様外のサプライチェーンをずっと「下って」しまっている場合でも、同様の方法で試料採取ができる。

個々の動物に特有な遺伝子の特徴を測定し、キットで収集した食肉の一部と比較すれば、同一性を鑑定できる。測定は独立の契約検査研究所で行われる。

(MEATnews.com, 12/05/2002)

最近の報道について :

最近テレビで、国産・輸入食肉問わず抗生剤やホルモンといった動物用医薬品の人体に及ぼす危険性をクローズアップし、視聴者の不安を掻き立てるような報道がいくつかなされました。十分な科学的データをもとにした報道とは言いがたい部分も散見され、内容的には今までの報道と差異はありません。食肉に携わる皆さまに置かれましては、日本はもとよりアメリカなど輸出国においては、適切な使用、厳しい検査とモニタリングにより、安全性が確保できた食品のみが流通していることをご確認ください。マスコミ報道の内容は、信憑性を客観的にご判断いただき、今まで通り自信を持ってお客様にご対応いただければ幸いです。尚、アメリカの安全性に関する情報は弊連合会ホームページにてご覧いただけますので、是非ご利用ください。URL は<http://www.usmef-ja.org>です。